

落札決定に住民参加

「一般国道5号蘭越町

蘭越市街線形改良工事」



小樽開発建設部では、公共工事の落札決定に住民の目線からの評価を反映させる「住民参加型総合評価落札方式」を試行しました。

これは従来の総合評価落札方式の技術評価に加え、住民の目線からの評価の導入することにより、①地元が考える優良企業とは、②総合評価落札方式の透明性・公平性の確保について、③公共事業の入札・契約に対する地域住民の理解の促進、を検証することを目的としています。



参加住民への入札方式の説明

今回試行したのは、一般国道5号の蘭越町市街地のカーブを緩くして右折レーンを設置する工事です。

試行では、入札金額、技術力、工事実績等従来の評価方法で上位3社を決定し、その3社から1社を選ぶ際に住民の評価を反映させました。

具体的には、6月4日（土）蘭越町で、公募で参加された住民に、「工事施工における沿道の安全対策」をテーマに、3社が20分ずつ自社の工事のプレゼンテーションと質疑応答を行います、どの企業に施工をまかせたいかを投票してもらいました。

質疑応答では、住民から、「小学生の登下校時間の対策は？」、「国道との出入口の安全対策は？」など熱心な質問が多数出され、関心の高さが伺われました。

説明会は公開で行われ、3社の従前の評価点に、投票数に応じた評価点が加味された結果、2位だった企業が1位の評価となり、6月10日（金）落札者として決定しました。



住民評価点の公表